

大船渡市派遣職員辞令書交付式

新たな仲間とともに前進

4月2日、市役所で、4月1日付けで復興支援として本市に派遣となった職員の辞令書交付式を行いました。

戸田市長から、着任した全国16団体43人の職員に、復興支援への志と尽力に対する感謝と今後の活躍に対しエールが送られました。また、派遣職員を代表し、市街地整備課の牛之濱竜児技監(大阪府泉佐野市)が復興に向け決意表明を行いました。



春の全国交通安全運動

みんなで防ごう交通事故

春の全国交通安全運動期間中の4月10日、市内各所で交通安全のシンボルである黄色い羽根の街頭配布が行われました。

大船渡小学校正門前では、戸田市長や大船渡警察署長、市議会議員、交通指導員らが、登校する児童・生徒に交通安全を呼び掛けました。

黄色い羽根には、交通事故をなくす願いが込められています。



(7) 広報大船渡 30.5.7(No.1126)

太平洋セメント株式会社“さざれ石”贈呈式

希少な価値に重みを感じ



4月5日、市役所で、“さざれ石”の贈呈式が行われました。国歌「君が代」で有名なこの石は、同社大船渡工場の石灰石の採掘場から発見された希少なもので、石灰石が長い年月をかけ雨水で溶解したときに生じた粘着力の強い乳状液が小石を凝結し、だんだんと一つの岩の塊に変化したものです。“さざれ石”はリアスホールに展示していますので、ぜひご覧ください。

放課後児童クラブ“りょうりキッズ”専用施設開所式

より安心安全な成長の場



4月21日、綾里小学校敷地内に新たに整備された放課後児童クラブ“りょうりキッズ”専用施設で開所式が行われ、戸田市長をはじめ、小松教育長、平野綾里小学校長、河原明洋父母会長、地域関係者、児童ら約30人が出席。テープカットなどで施設の完成を祝いました。

児童たちは、この場所での新たな生活のスタートに期待を膨らませていました。

トピックス 1

市民協働準備室を新たに設置

4月1日付けで、企画政策部内に市民協働準備室を設置しました。

この新たなセクションは、地区経営と地域づくりに関する窓口機能の一本化を図るとともに、持続可能な地区形成に向け、地区と行政との新たな関係の構築を推進するため設置したものです。

人口減少や高齢社会の進行に伴い、地域活動の担い手不足や互助機能の低下など地域を取り巻く環境が変化している今、市民や関係団体と意見交換を重ね、住民が主体となり、地域課題を自ら解決する新たな地域の仕組みづくりに取り組んでいきます。



①市民協働準備室の看板を掲げました
②市民参画と協働の推進に積極的に取り組んでいきます



①戸田市長から新任の辞令書の交付を受ける新沼敏宏指導員
②指導員を代表し、決意表明を行う沼田京子副隊長

トピックス 2

大船渡市交通指導員辞令書交付式

4月2日、市役所で、大船渡市交通指導員辞令書交付式を行い、新任、昇任、再任する16人の交通指導員に戸田市長から辞令書が交付されました。

戸田市長は、「市内の交通環境が震災前から大きく変化している中、市民の皆様が安全に暮らせるまちづくりには交通事故を撲滅することが重要であり、そのために交通安全活動を推進する交通指導員皆様果たす役割は大きく、なお一層のお力添えをいただきたい」と訓示。交通指導員は、日頃から交通事故防止のため、朝夕の街頭指導をはじめ、各地域での交通安全教室など多岐にわたり活動しています。

トピックス 3

赤崎グラウンドオープニングセレモニー

4月14日、赤崎グラウンドのオープニングセレモニーを行いました。同グラウンドは人工芝整備に続き、ロッカールーム・シャワー室を備えたクラブハウスや観客席の整備が終了し、4月から本格供用する運びとなりました。

セレモニーには、整備に携わった関係者、市内のスポーツ少年団員や中学校サッカー部員約100人が参加し、スポーツ振興の拠点の完成を祝いました。

今後、多目的に利用できるグラウンドとして、スポーツを通じ市内外からの利用者の増大に加え、交流人口拡大を目指した取り組みを展開していきます。



①グルージャ盛岡の協力によるサッカー教室で選手らと交流を楽しむ子どもたち
②テープカットで完成を祝いました